

金属ダクト 選定ガイド

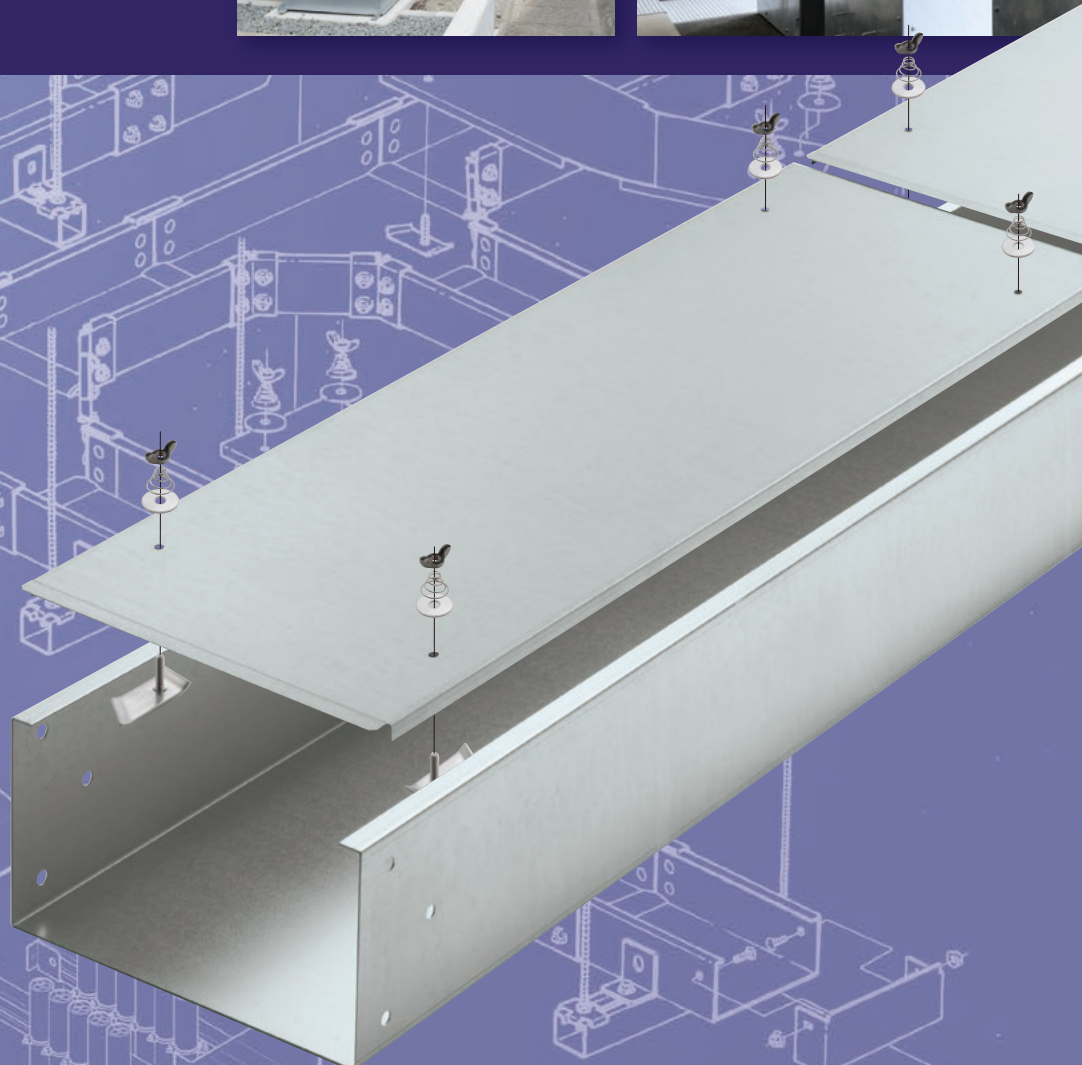
2025/26A

金属ダクト選定シート掲載



施工写真掲載

- 金属ダクト
- アルミニウム合金製ケーブルダクト
- 鋼製トラフ



目 次

金属ダクト選定ガイド

はじめに	1
関連仕様書 抜粋	2
1. 仕様	4
2. 主要構成一覧	4
3. 接続方式 (外継ぎ金具・カップリング・外フランジ・内フランジ)	5
4. カバー (平形カバー・縁曲げ平形カバー・縁曲げ屋根形カバー)	6
5. カバー止め方式 (挟み込み形 (CVCD1)・ねじ止め形)	6
6. ケーブル支持桁 (取付方式・支持桁の種類)	7
7. セパレーター (固定式・可動式)	9
8. 接地端子 (ボルト式・金具式)	9
9. ダクト支持 (支持間隔・支持例)	10

施 工 写 真 集

1. 金属ダクト	11
・総合図	11
・標準品	12
・特注製作品	15
2. アルミニウム合金製ケーブルダクト	18
・総合図	18
・特注製作品	19
3. 屋上電線路用鋼製トラフ	22
・総合図	22
・標準品・特注製作品	23

金属ダクト選定シート	24
------------	----

アルミダクトチェックリスト	28
---------------	----

はじめに-----

ネグロス電工では標準品の金属ダクト**DPS**タイプ、アルミ製ダクト**ADS**タイプの他、物件の仕様に沿ったダクトについて、設計・製作を請け賜っております。

各公共工事物件に数多くの実績がございます。

この小冊子は、ダクト選定の参考としていただくために、製作ダクトの概要をまとめたものです。ダクト敷設工事に先立ち、ご利用いただければ幸いです。

公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和4年版 電力46 金属ダクト 「記号、形式及び表示例」より抜粋

(1) 形式、ふたの止め方等の記号

記号	形 式	記号	ふたの止め方	寸 法 [mm]
A	A 形	S	ねじ止め式	a×b
		H	ちょう番式	

(2) 材質・材厚及び仕上げの記号

記号	材質・材厚及び仕上げ
—	SPC 1.6
Z35	SPC 1.6にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZ35以上の溶融亜鉛めっきを施したもの又は同等以上の耐食性を有するもの
備考	セパレータも含む。

(3) 形 式

A形ねじ止め式 AS

A形ちょう番式 AH

断面図

(4) 表示例

記 号	説 明
AS400×200	A形ねじ止め式で寸法が400mm×200mmのもの
AH400×200	A形ちょう番式で寸法が400mm×200mmのもの
AH400×200—Z35	A形ちょう番式で寸法が400mm×200mmのもので、溶融亜鉛めっきを施したもの

公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和4年版 電力56 接地2 「接地端子座」より抜粋

(1) 電力用のプルボックス、金属ダクト、金属トラフ、ケーブルラック

(a)

(b)

(c)

(2) 分電盤、制御盤、開閉器箱のキャビネット

(a)

(b)

(c)

備考

(1) 形状は、一例を示す。

(2) 接地線の太さ及び適合ねじの呼び径は「接地端子箱」による。

(3) アルミ製ケーブルラックのボルト、ナット等は、ステンレス鋼製M8以上とする。

(4) ねじ締付け作業が容易に行えるように、接地端子座は、傾斜取付けとしてもよい。

注 * ねじの頭部を緑色としないう場合は、付近にアースマークを貼付する。

電気設備工事監理指針 令和4年版より抜粋

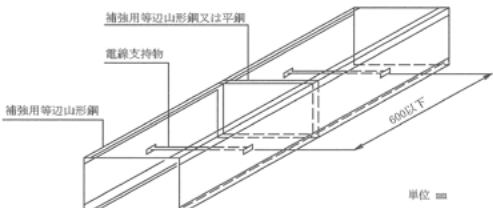
1.2.7 金属ダクト

金属ダクトは、全体が鋼板で覆われた構造で、所要の電線を容易に収容でき、かつ、内部が点検できるものでなければならない。

(7) 構造等については「標仕」1.2.7に、形式等については「標準図」(電力46)に示されており、変形のものでも構造は、それぞれ記載されている事項を満足しなければならない。

(f) 箱体は、1.2.6(f)によるほか、次による。

本体断面の長辺の長さが450mmを超える場合は、等辺山形鋼、平鋼等により補強する。補強材取付け例を、図1.2.6に示す。



注1. 補強材取付け間隔は、製造者の標準とする。
2. 図は上側のふたをはずした状態を示している。

図1.2.6 金属ダクトの補強材取付け例

- (g) ふたの製作に当たっては、次の事項に留意する。
- (a) ふたは、そり等の変形をしない構造とし、必要に応じ補強材等を設けるようにする。この場合は、補強材の凸面は内面になるようにする。
- (b) ふたの幅が800mmを超えるものは、2分割するが、長さは作業性を配慮したものとする。
- (c) ちょう番式とした場合のちょう番は、十分な強度を有するものとし、ふたの取外しが可能なようにする。
- (x) ふたの止めねじは、1.2.6(g)による。
- (4) 収容する電線が大量の場合は、必要に応じ電線支持物を2段にする。また、セパレータを設ける場合は、それぞれの電線本数により位置を選定する。セパレータ取付け例を図1.2.7に示す。
- (8) 塗装(溶融亜鉛めっき又は同等以上の耐食性を有するものを除く。)は、製造者の標準色とされている。また、溶融亜鉛めっき又は同等以上の耐食性を有するものの表面仕上げは、製造者の標準による。
- (4) 本体相互の接続は、図1.2.8に示すカップリング方式とする。
プルボックス、配分電盤等との接続は、外フランジ方式とする。

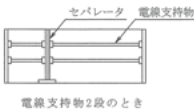


図1.2.7 金属ダクトのセパレータ取付け例

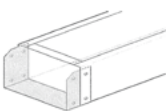


図1.2.8 金属ダクト相互の接続方式の例
(カップリング方式)

公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版より抜粋

1.2.7

金属ダクト

- (1) 形式等は、標準図第2編「電力設備工事」(電力46)による。
- (2) 金属ダクト(溶融亜鉛めっき又は同等以上の耐食性を有するものを除く。)は、製造者の標準色により塗装を施す。
- (3) 溶融亜鉛めっき又は同等以上の耐食性を有する金属ダクトの表面仕上げは、製造者の標準による。
- (4) 幅が800 mmを超えるふたは、2分割し、ふたを取付ける開口部は、等辺山形鋼等で補強する。
- (5) 金属ダクトの屈曲部は、電線被覆を損傷するおそれのないよう、隅切り等を施す。
- (6) 本体相互の接続は、カップリング方式とする。
- (7) ブルボックス、分電盤等との接続は、外フランジ方式とする。
- (8) 終端部は、閉そくする。ただし、分電盤等と接続する場合は、この限りでない。
- (9) 電線支持物は、次による。
 - (ア) 電線支持物は、金属管、平鋼等とする。
 - (イ) 電線支持物の間隔は、水平に用いるダクトでは600 mm以下、垂直に用いるダクトでは750 mm以下とし、その段数は表1.2.5による。

表 1.2.5 金属ダクトの電線支持物の取付け段数

ふたの位置	深 さ	200 mm 以下	200 mm 超過
	上 面	な し	1 段
	下面又は立上り正面	1 段	2 段

- (10) 終端部及びブルボックス、分電盤等との接続部には、標準図第2編「電力設備工事」(電力56)の接地端子座による接地端子を設ける。

※標準図(電力46、56)については2ページを参照してください。

地方共同法人 日本下水道事業団 電気設備工事一般仕様書・同標準図 令和6年度より抜粋

11.2.3 金属ダクト

1 構造は、下記による。

- (1) 金属ダクト(セパレータを含む。)は、原則として板厚2.0[mm]以上のアルミ板を使用する。
- (2) 本体断面の長辺が400[mm]を超えるものは、補強材を設ける。
- (3) 本体内部には、ケーブルを損傷するような突起物を設けない。
- (4) 金属ダクトには、工具なしで開閉できる点検口を必要に応じて設ける。
- (5) ダクトの屈曲部の大きさは、収容ケーブルの屈曲半径が外径の10倍以上となるよう選定する。
- (6) ダクト内部に電線を支持する金具を取付ける。
- (7) アルマイト加工及びクリア塗装を施す。
- (8) ボルト、ナット類は、ステンレス製とする。
- (9) 接地端子を設ける。
- (10) 床・壁貫通部、配電盤との接合部は、外フランジ方式とする。
- (11) 金属ダクトの屈曲部は、電線被覆を損傷するおそれのないよう隅切り等を行う。

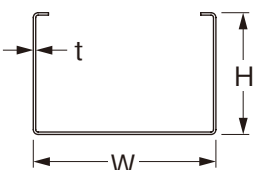
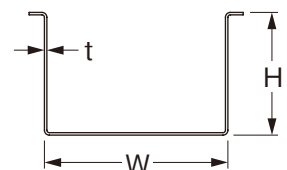
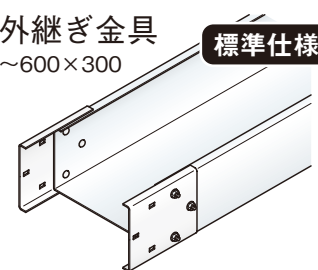
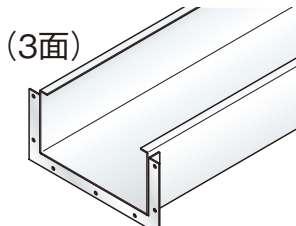
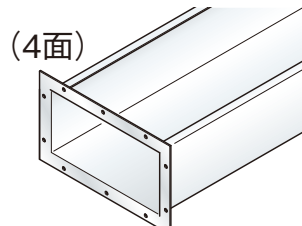
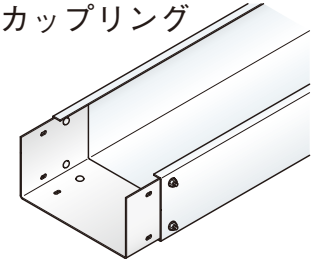
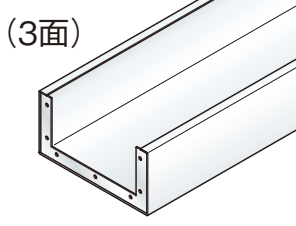
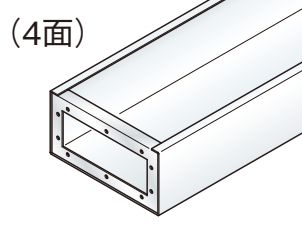
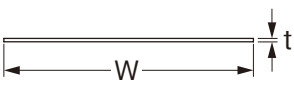
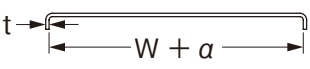
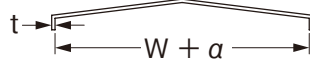
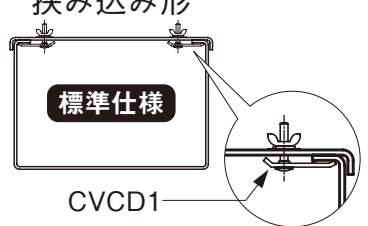
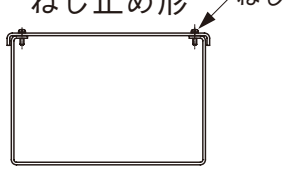
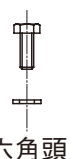
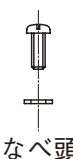
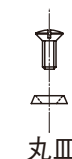
2 金属ダクトの製作にあたっては、製作承諾図を提出し監督職員の承諾を受けた後製作する。

1. 仕 様

- 高耐食性めっき鋼板 : SD-〇〇〇 溶融亜鉛—アルミニウム—マグネシウム合金めっき鋼板
スーパーダイマ® (板厚1.6~2.3mm)
- 溶融亜鉛めっき仕上げ: Z-〇〇〇 熱間圧延軟鋼板—JIS G 3131 SPHC (板厚1.6~3.2mm)
- 標準塗装 : P-〇〇〇 溶融亜鉛めっき鋼板—JIS G 3302 SGHC (板厚1.6~3.2mm)
- ステンレス鋼板 : S-〇〇〇 冷間圧延ステンレス鋼板—JIS G 4305 SUS304 (板厚1.5~3.0mm)
- アルミニウム合金 : アルミニウム合金の板材—JIS H 4000 A5052P (板厚1.5~3.0mm)

※スーパーダイマは日本製鉄株式会社の登録商標です。

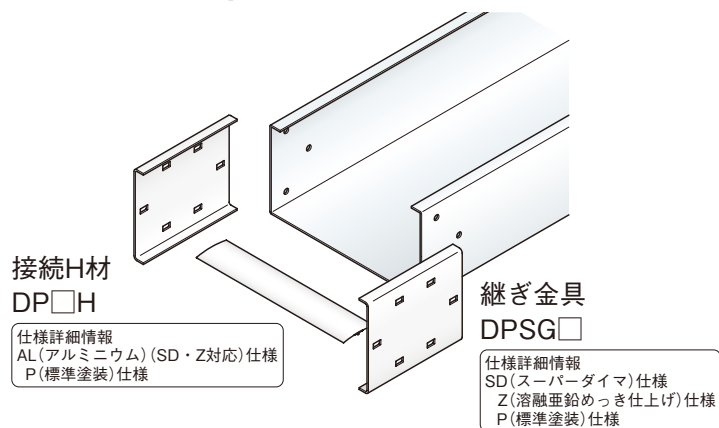
2. 主 要 構 成 一 覧

本 体 基本形状	一般形 標準仕様  外曲げ形 	
接続方式	外継ぎ金具 ~600×300 標準仕様 	外フランジ (3面)  (4面) 
	カップリング 	内フランジ (3面)  (4面) 
カバー	平 形 	縁曲げ平形 標準仕様  縁曲げ屋根形 
カバー止め 方 式	挟み込み形 標準仕様  ねじ止め形  使用ねじの種類 六角頭 平座金付  なべ頭 平座金付  トラス 山形座金付  丸皿 山形座金付 	※本体外曲げ形、カバー屋根形には適用しません。

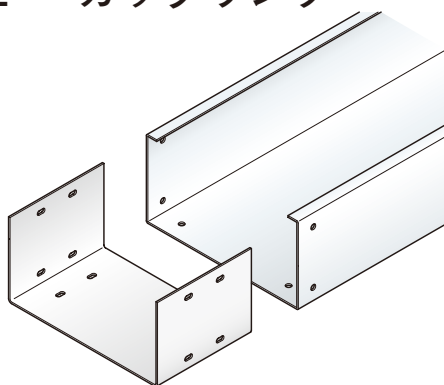
注意 ●施工・点検等の際には保護具を着用し、角部・端部(エッジ部)に注意してください。怪我の恐れがあります。

3. 接続方式

3-1 外継ぎ金具 標準仕様

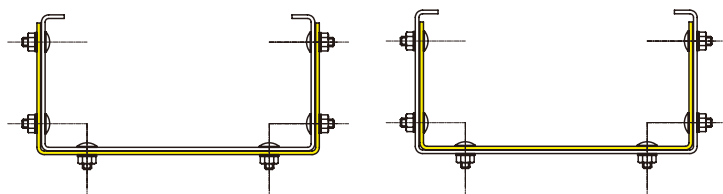


3-2 カップリング



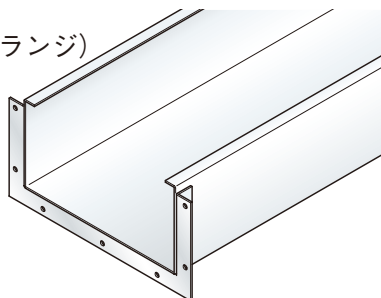
(外カップリング)

(内カップリング)



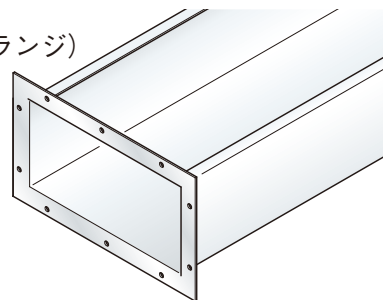
3-3 外フランジ

(3面フランジ)



※横引き施工の通線作業性に優れています。

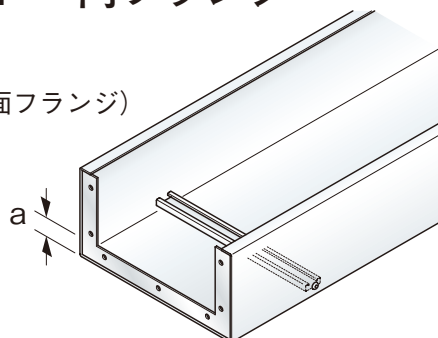
(4面フランジ)



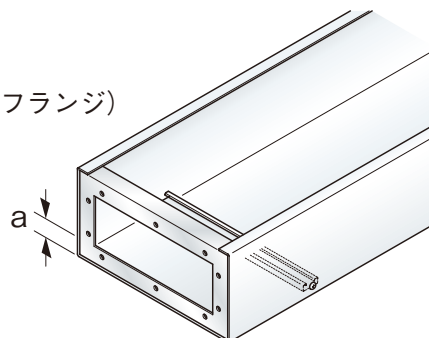
※ 比較的に支持間隔の大きい場合や大形ダクト、垂直敷設ダクトなどに用います。

3-4 内フランジ

(3面フランジ)



(4面フランジ)

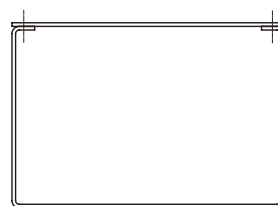
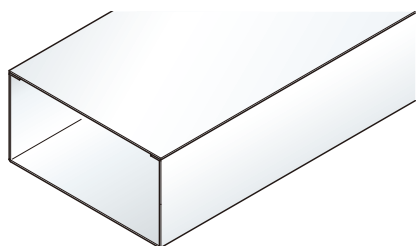


※外フランジに比べて外観に優れています。又、ダクト支持材に干渉することはありません。

※ジョイント部分でのケーブル保護のため、フランジ幅 (a) 以上の位置にケーブル支持桁を設けます。

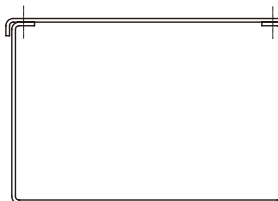
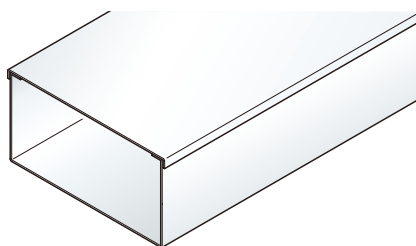
4. カバ ー

■ 4-1 平形カバー



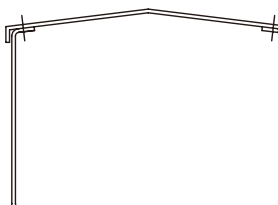
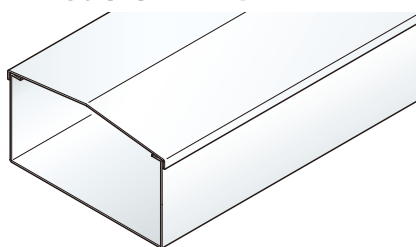
※主にアルミダクトに用いられます。

■ 4-2 縁曲げ平形カバー **標準仕様**



※一般的な形状です。

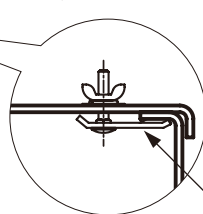
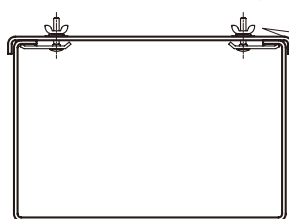
■ 4-3 縁曲げ屋根形カバー



※ 屋外(屋上)などでの水切りタイプとして、用いられます。

5. カバ ー 止 め 方 式

■ 5-1 挟み込み形 (CVCD1) **標準仕様**



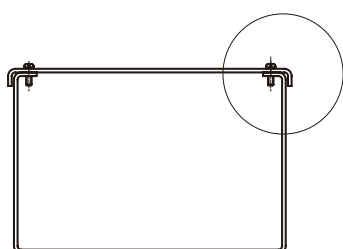
※ 本体への止め穴加工は不要です。カバーは任意の位置に取り付けできます。

CVCD1

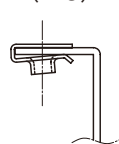
※ 横引き専用です。

■ 5-2 ねじ止め形

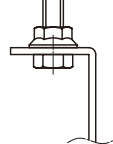
本体側の仕様



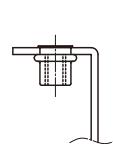
クリップナット
(M6)



セットボルト
※1



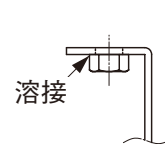
カシメナット
※2



タップ加工
※3



ナット溶接
※4



※1 主に屋根形カバーに用います。

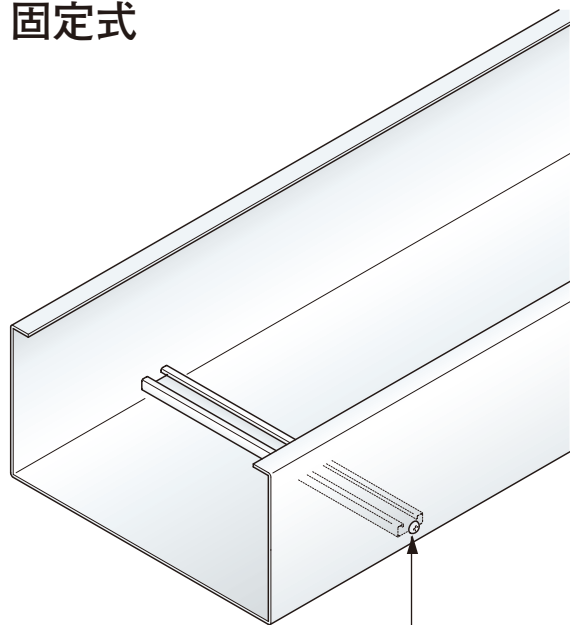
※2、※3、※4 溶融亜鉛めっき仕上げ品は原則として不可とします。

※4 高耐食性めっき鋼板製は不可とします。

6. ケーブル支持桁

6-1 取付方式

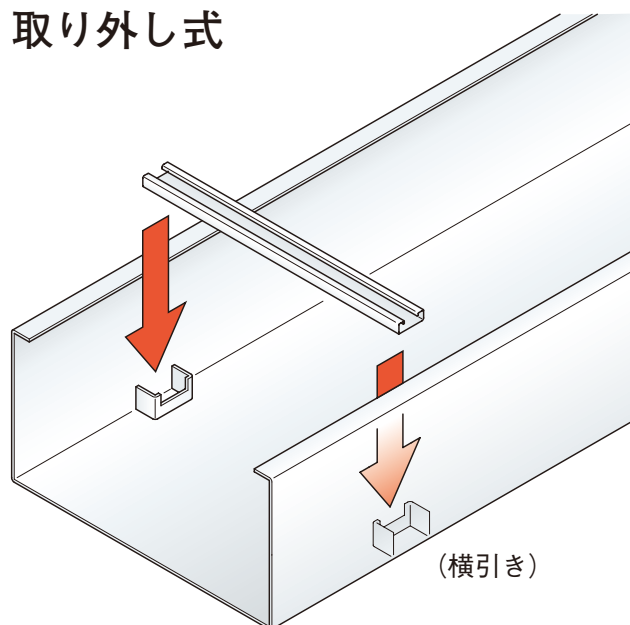
● 固定式



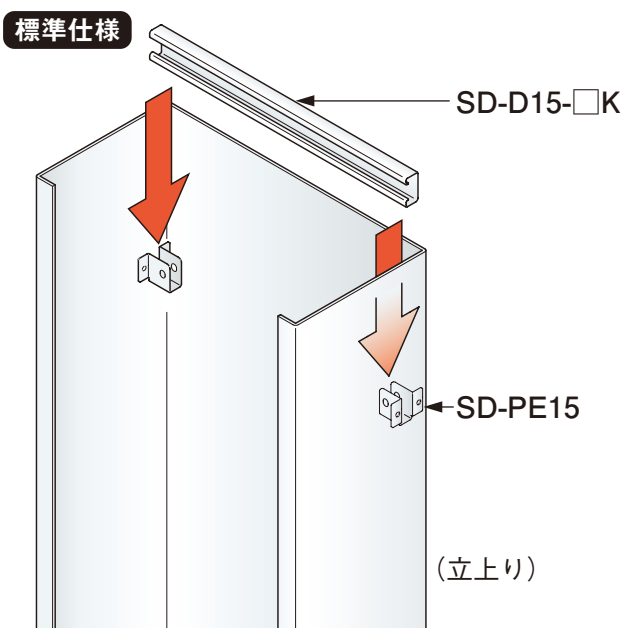
ねじ止め又は溶接、リベット

※高耐食性めっき鋼板製はねじ止めになります。

● 取り外し式



(横引き)



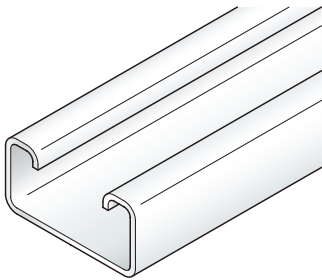
標準仕様

SD-D15-□K

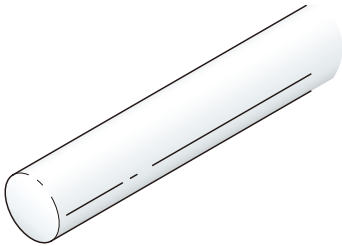
SD-PE15

(立上り)

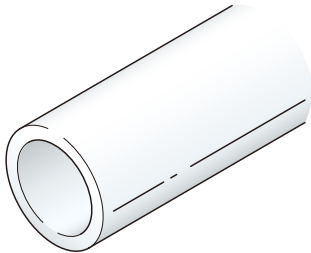
■ 6-2 支持桁の種類



●チャンネル
(D15N、D20N、D30N)



●丸 鋼
(φ9～16)



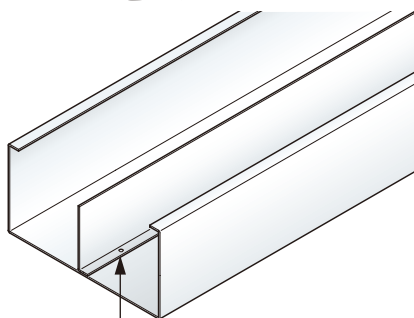
●金属管
(φ21～33)

チャンネル		断面積が大きいダクト又は立上りダクト等の電線ケーブルの太物を支持する場合に使用する。
丸 鋼		金属ダクトの断面積が小さい場合に使用する。
金 属 管		断面積が中程度以上のものに使用する。

※〈N〉の支持桁は、チャンネルが標準仕様となります。

7. セパレーター

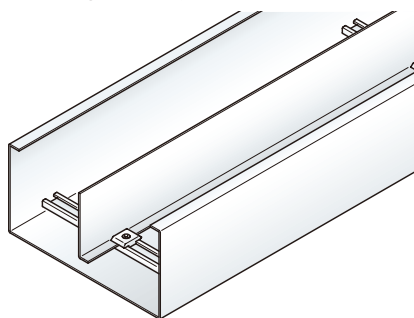
7-1 固定式



固定方法の種類

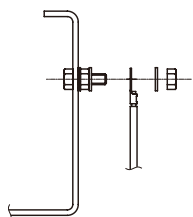
- ・リベット止め
- ・ねじ止め
- ・溶接

7-2 可動式



8. 接地端子

8-1 ボルト式

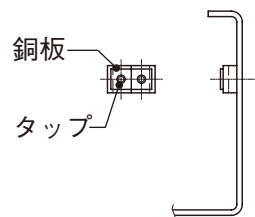


※高耐食性めっき銅板製、溶融亜鉛めっき仕上げ品ではボルト式が適しています。

※本体穴加工し、ステンレスボルトを端子座として使用します。

適用品：EBKS55-50-M□-----5.5mm²
 : EBEKS55-50-M□---5.5mm² (エコ電線)
 : EBKS14-50-----14mm²
 : EBEKS14-50-----14mm² (エコ電線)

8-2 金具式

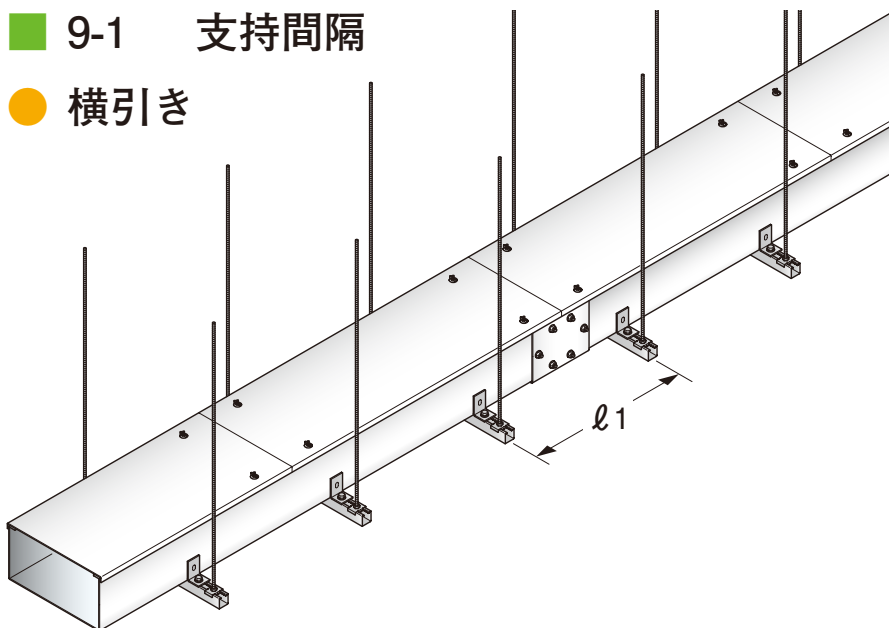


※主に塗装仕様の際に用います。

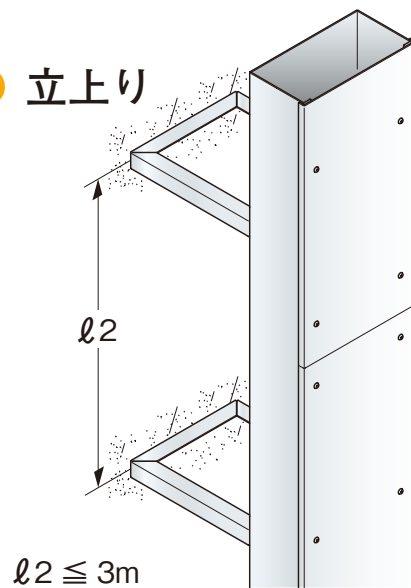
9. ダクト支持

9-1 支持間隔

● 横引き



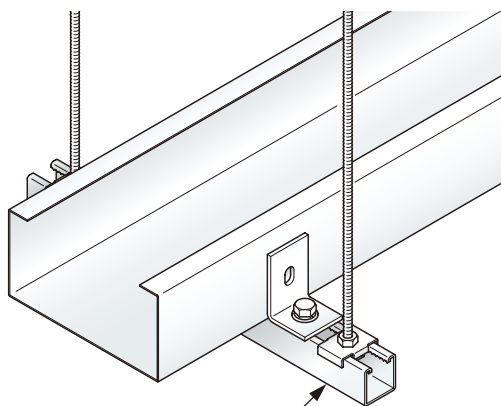
● 立上り



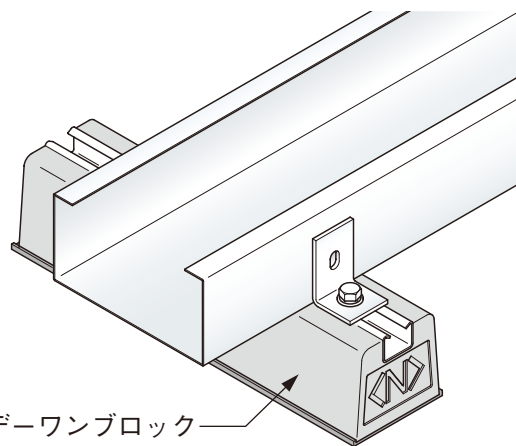
※ただし、配線室等において、垂直に敷設する場合は、6m以下の範囲で各階支持とすることができる。

9-2 支持例

● 横引き (自重支持)

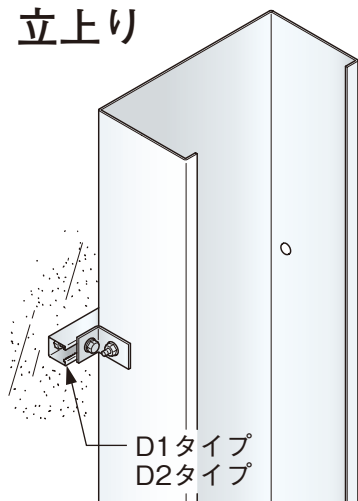


ダクターチャンネルD2、
チャンネルD41、形鋼など

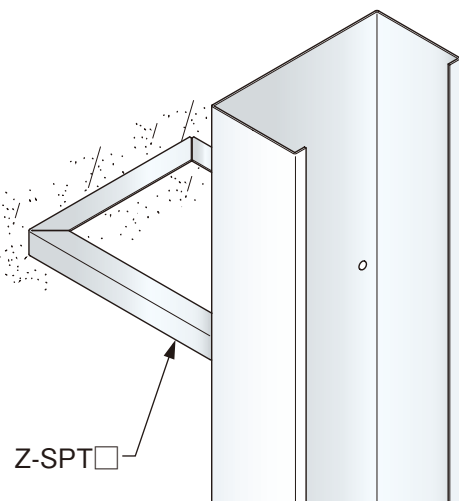


デーワンプロック

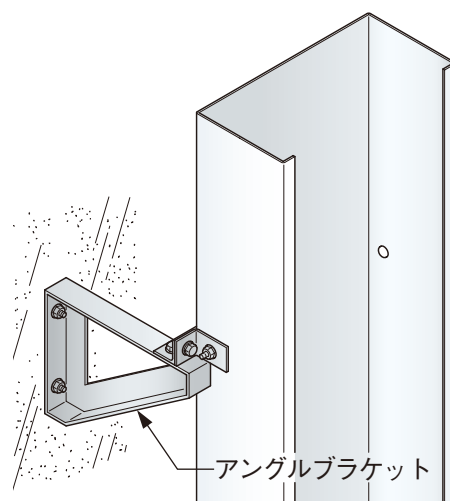
● 立上り



D1タイプ
D2タイプ



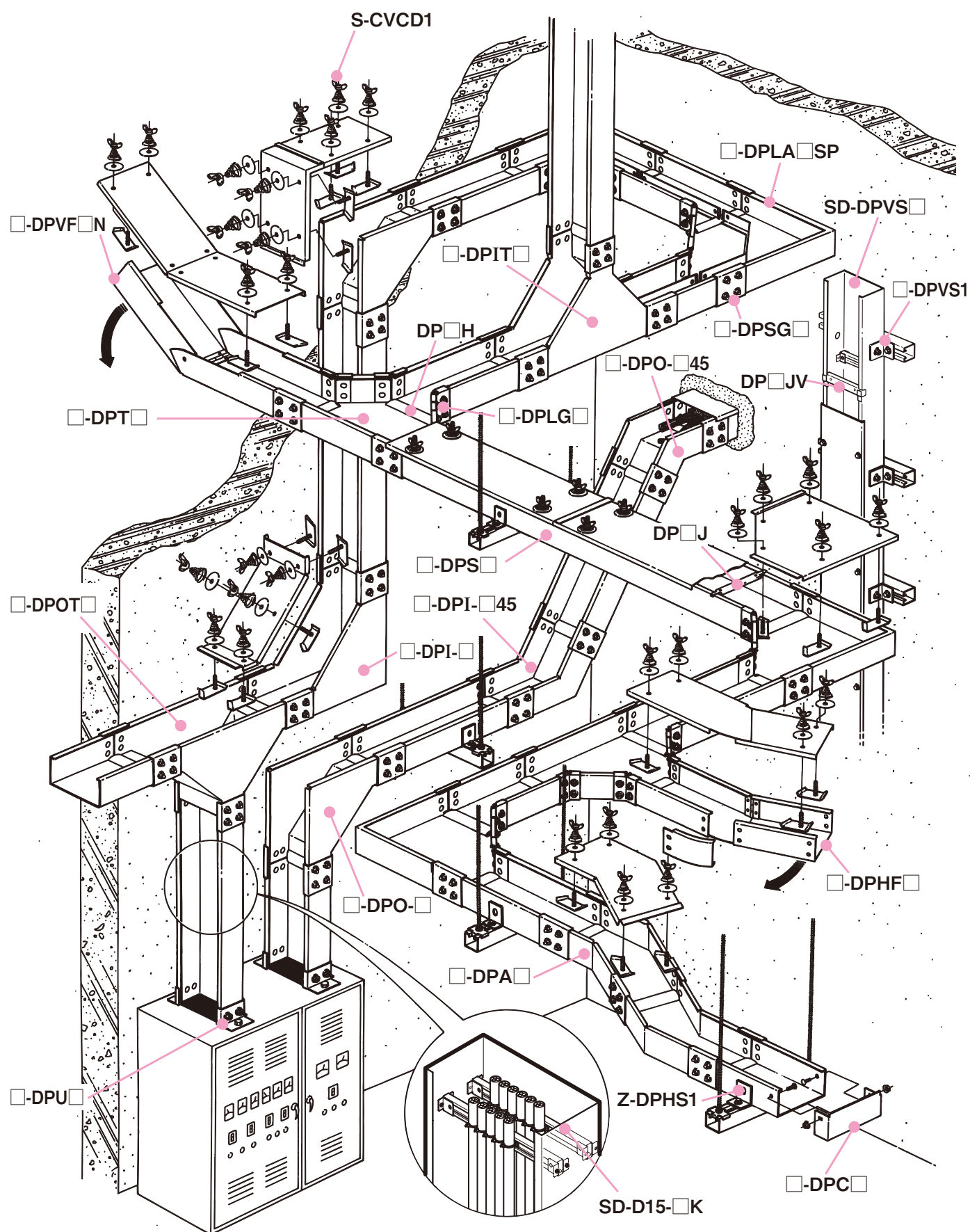
Z-SPT□



アングルブラケット

1. 金属ダクト

総合図



1. 金属ダクト

1-1. 標準品（高耐食性めっき鋼板製）

直線ダクト SD-DPS□



水平自在継ぎダクト SD-DPHF□



垂直自在継ぎダクト SD-DPVF□N



カバー止め金具 S-CVCD1
直線用外継ぎ金具 SD-DPSG□



セパレーター付直線ダクト
SD-DPS□SP



1. 金属ダクト

立上りダクト SD-DPVS□-P□-□



(無断転写を禁ず)

1-2. 特注製作品

溶融亜鉛めっき仕上げダクト



横引き水平ベンドダクト



・階段に沿って施工



1. 金属ダクト

立上りダクト



溶融亜鉛めっき仕上げダクト

・ハンドホールからの取り出し施工



・取っ手付きカバー



- ・地下ピットからの取り出し(カバーは縞鋼板製)



- ・横引き



- ・横引きダクト段差部の方向転換



- ・アルミ製ケーブルラックからダクトでキュービクルに接続

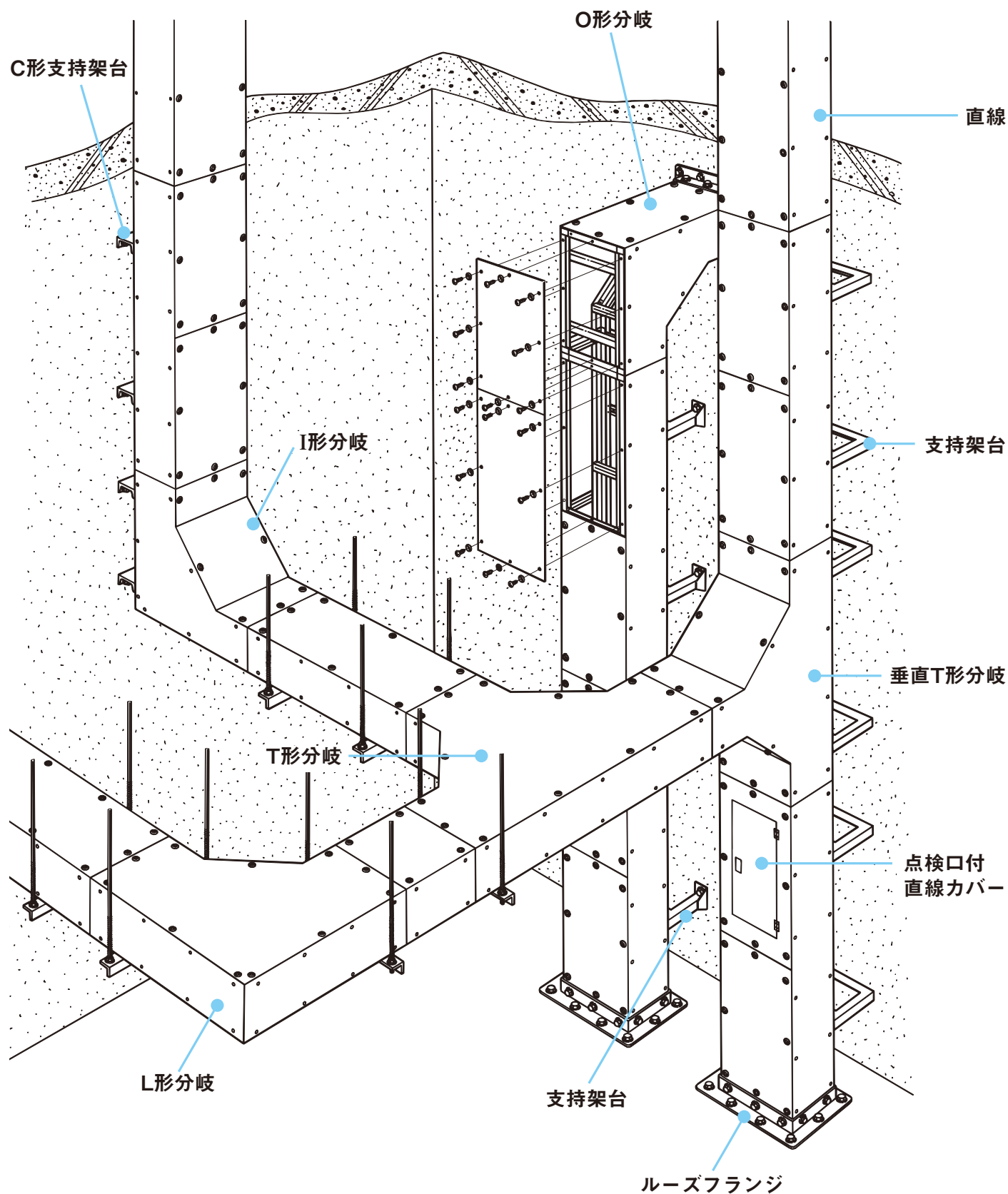


- ・壁貫通部への施工



2. アルミニウム合金製ケーブルダクト

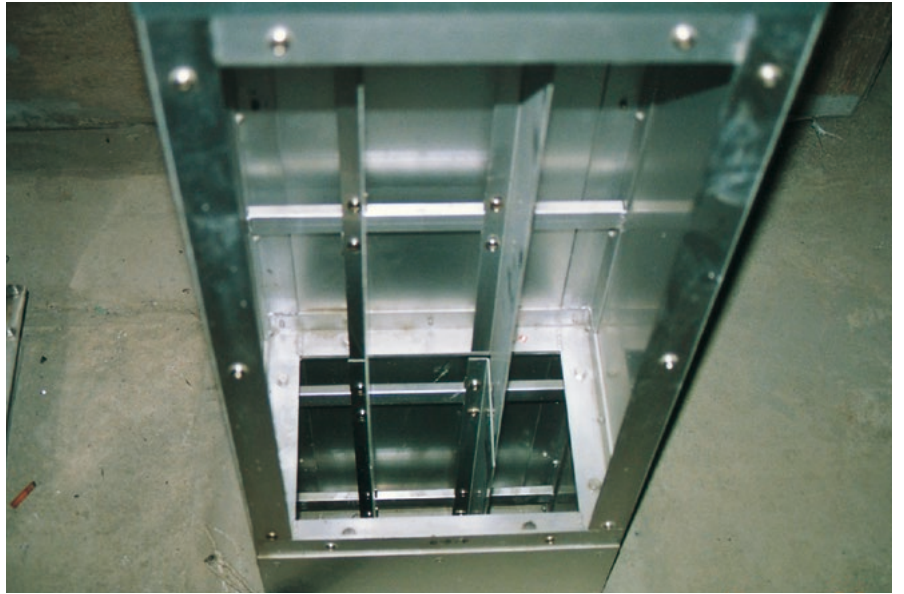
総合図



※補強フレーム式アルミダクトは特注製作品となります。

2-1. 特注製作品

補強フレーム式直線ダクト
(セパレーター付)

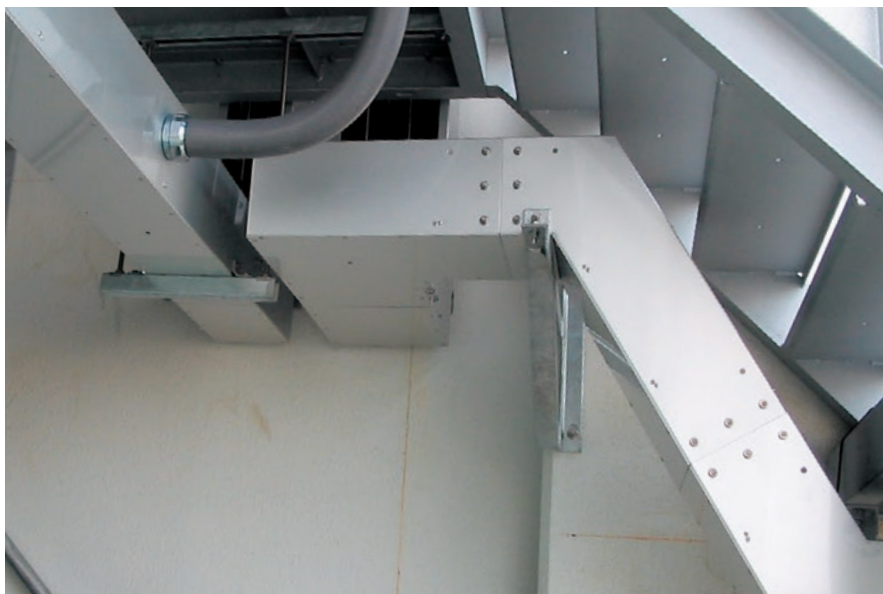


補強フレーム式直線ダクト
(セパレーター・点検口付)



2. アルミニウム合金製ケーブルダクト

- ・可とう電線管によるケーブル引出し
支持材：ダクターチャンネル (D2)
アングルブラケット



- ・ケーブルラック取入口にアングル支持材を使用

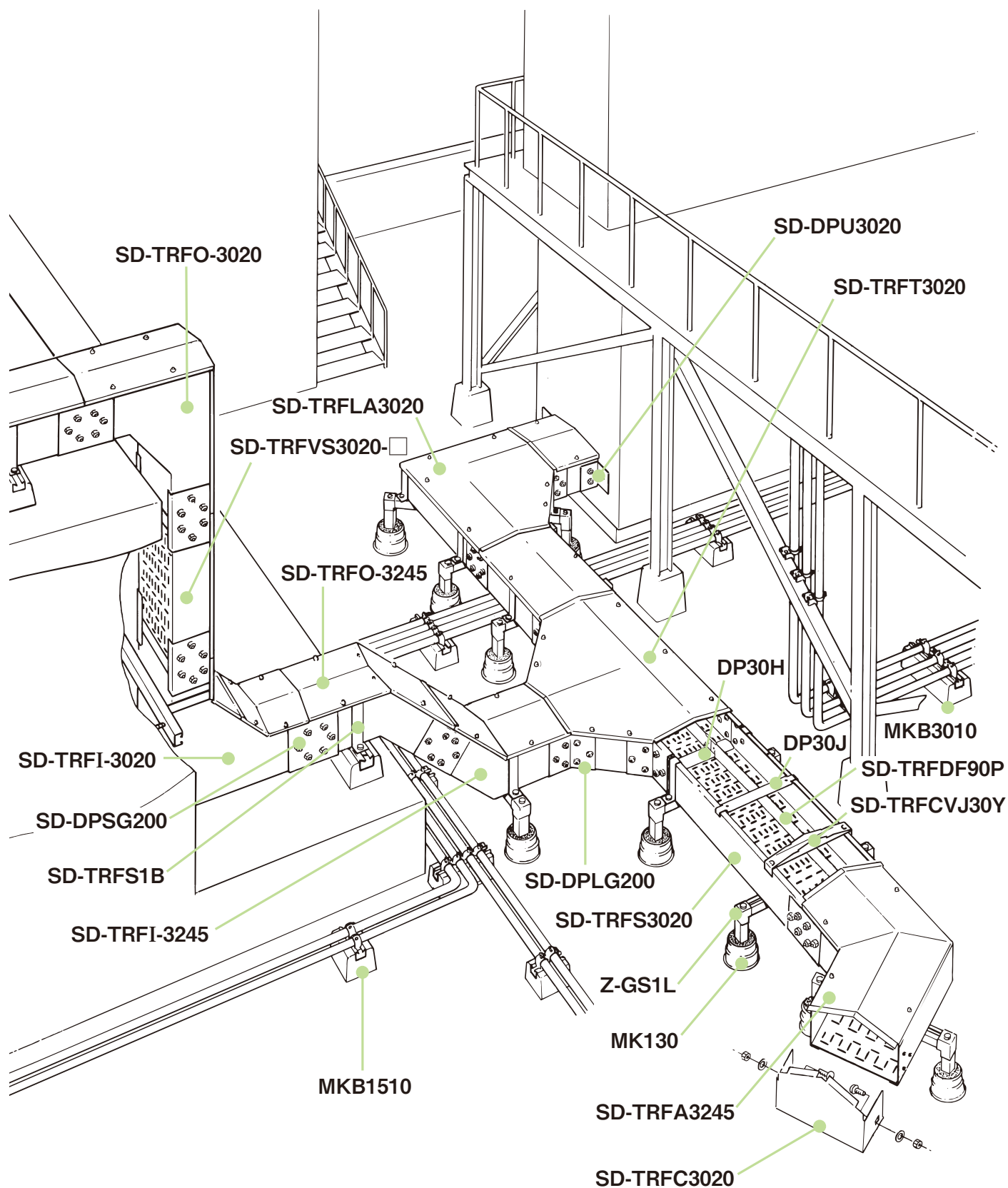


- ・横引き配線はアルミ製ケーブルラック、立上り配線はケーブルダクトによる施工



3. 屋上電線路用鋼製トラフ

総合図



3-1. 標準品

直線トラフ TRFS□



アウトサイドベンドトラフ TRFO-□

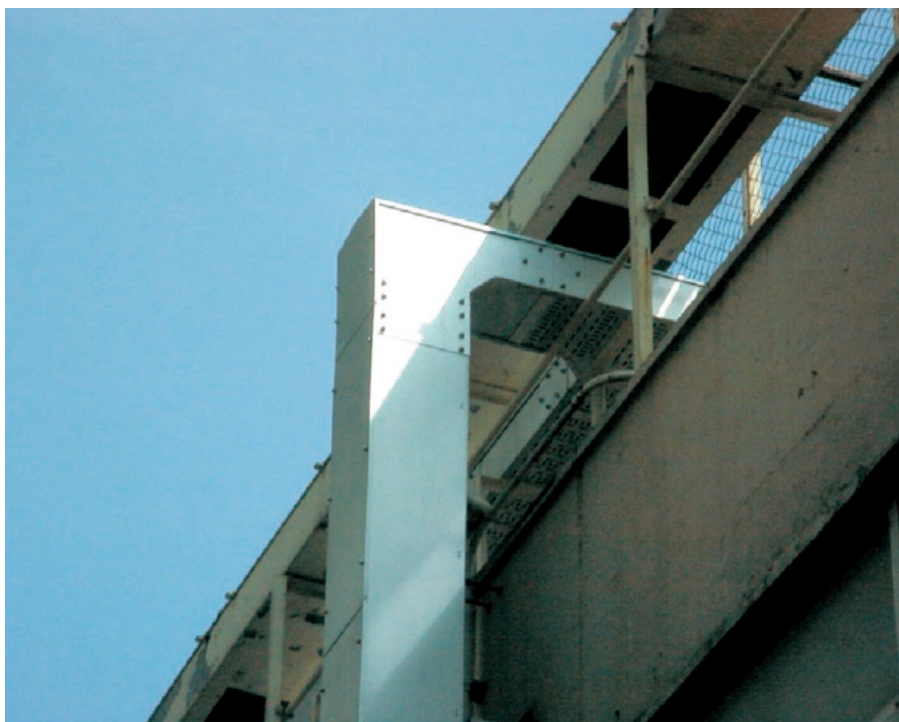


止水プレート



3-2. 特注製作品

- ・トラフに立上りダクト接続



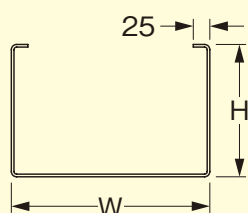
金属ダクト選定シートをご記入の上、最寄りの営業所にお見積申し付けください。

貴社名： TEL：() —
 ご担当者名： FAX：() —
 件名： 納入予定時期：

1. ダクト寸法

ダクトのサイズ(W、H)と全長(L)をご指定ください。

W mm × H mm × L mm



※全長(L)については、下記を参考に設定してください。

ダクト断面周長(W+2H+50)が、

1200mm以下……………L=2400mmまで

1200mmを超える………L=1200mmまで

2. 仕様設定

① 材質・表面処理(4ページ参照)以下から選定して板厚をご指定ください。

☐ 高耐食性めっき鋼板

☐ 溶融亜鉛めっき仕上げ

☐ ステンレス鋼板

☐ 標準色塗装(5Y7/1)

☐ 指定色塗装(色票番号：)

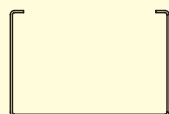
板厚= mm

※アルミニウム合金製(アルミダクト)は28ページ参照

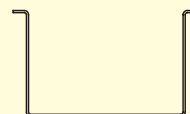
② 本体基本形状(4ページ参照)

ダクト本体の基本形状をご指定ください。

☐ 一般形



☐ 外曲げ形



標準仕様

③ 接続方式(5ページ参照)ダクトの接続方式をご指定ください。

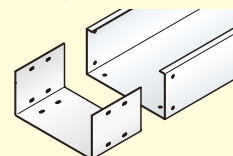
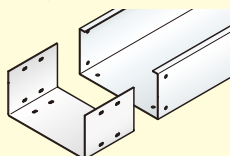
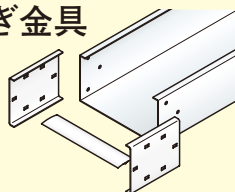
接続フランジサイズ： L — × ×

☐ 外継ぎ金具

☐ 外カップリング

☐ 内カップリング

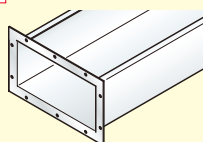
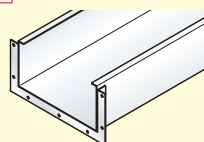
標準仕様



外フランジ

☐ 3面フランジ

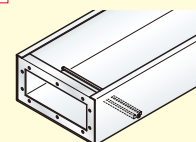
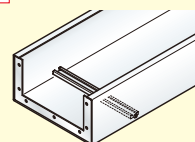
☐ 4面フランジ



内フランジ

☐ 3面フランジ

☐ 4面フランジ



④ カバー (4、6ページ参照)

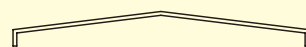
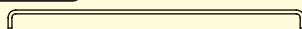
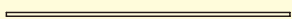
ダクトに取り付けるカバーの形状をご指定ください。

☐ 平形カバー

☐ 縁曲げ平形カバー

☐ 縁曲げ屋根形カバー

標準仕様

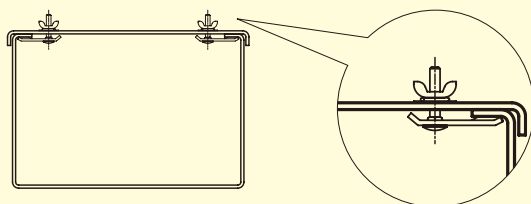


⑤ カバー止め方式 (4、6ページ参照)

カバー止め方式をご指定ください。

☐ 挟み込み形

標準仕様



☐ 段だし

☐ 点検

☐ ゴムパッキン
(簡易防水)

☐ たわみ防止

☐ ねじ止め形

使用ねじの種類:

サイズ:

☐ クリップナット

☐ セットボルト

※1

☐ カシメナット

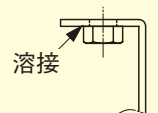
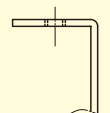
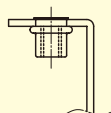
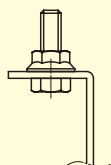
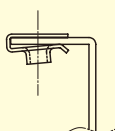
※2

☐ タップ加工

※3

☐ ナット溶接

※4



※1 主に屋根形カバーに用います。

※2、※3、※4 溶融亜鉛めっき仕上げ品は原則として不可とします。

※4 高耐食性めっき鋼板製は不可とします。

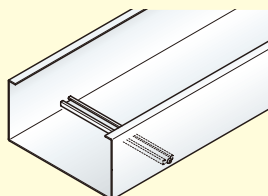
⑥ ケーブル支持桁 (7、8ページ参照)

ケーブル支持桁についてご指定ください。

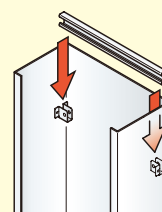
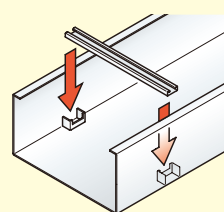
☐ 不要

☐ 必要

☐ 固定式



☐ 取り外し式

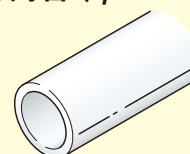
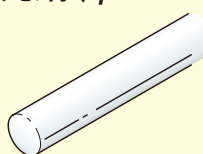
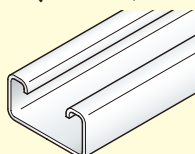


● 支持桁の種類

☐ チャンネル (D15N、D20N、D30N)

☐ 丸鋼 (φ9~16)

☐ 金属管 (φ21~33)



支持桁の段数: 段、支持桁のピッチ: mm

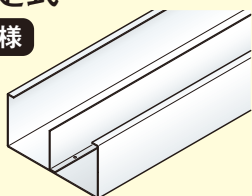
- ⑦ セパレーター(9ページ参照)
セパレーターについてご指定ください。

☐ 不要

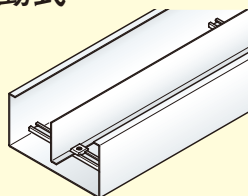
☐ 必要

☐ 固定式

標準仕様

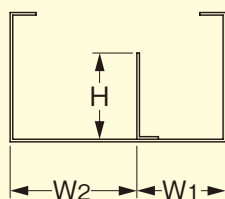


☐ 可動式

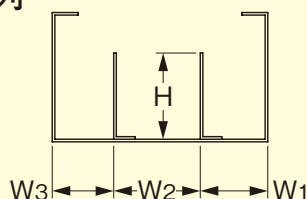


※固定式では原則として支持桁を配置しません。固定式で支持桁を必要とする場合は支持桁部でセパレーターを縁切りします。尚、可動式は支持桁が必要です。

☐ 1列



☐ 2列



セパレーター高さ H = mm

セパレーター間隔 W1 = mm、W2 = mm、W3 = mm

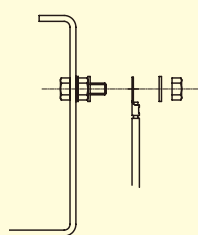
※W1は最小50mm、最大はダクト幅-50mmとなります。

- ⑧ 接地端子(9ページ参照)
接地端子についてご指定ください。

☐ 不要

☐ 必要

☐ ボルト式



ボルトサイズ

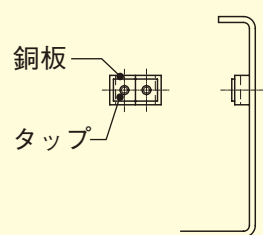
☐ M6

☐ M8

☐ その他:

※高耐食性めっき銅板製、溶融亜鉛めっき仕上げ品ではボルト式が適しています。
※本体穴加工し、ステンレスボルトを端子座として使用します。

☐ 金具式



※主に塗装仕様の際に用います。

(備考欄)

・ダクト使用量: 約 m

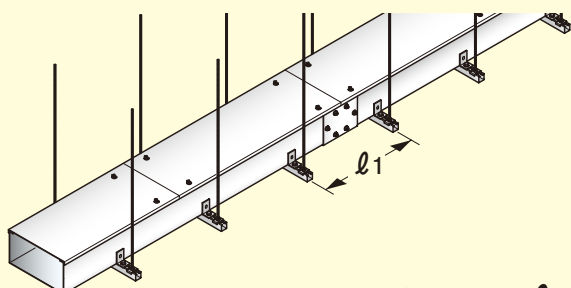
・分岐ダクト本数: 約 本

・その他

- ⑨ ダクト支持(10ページ参照)
ダクトの支持方法についてご指定ください。

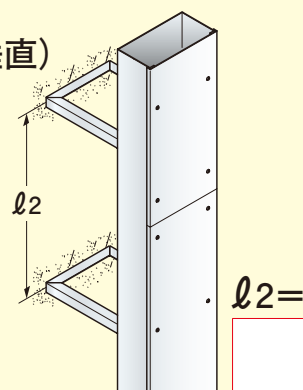
[支持間隔]

☐ 横引き (水平)



自重支持 $l_1 =$ m

☐ 立上り (垂直)

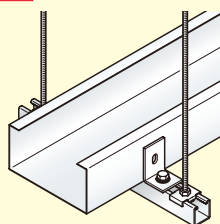


$l_2 =$ m

[支持材] 電設資材カタログ「ワールドダクター」「サポートシステム」を併せてご参照ください。

●横引き (自重支持)

☐ 吊りタイプ



吊りボルト

☐ W3/8又はM10

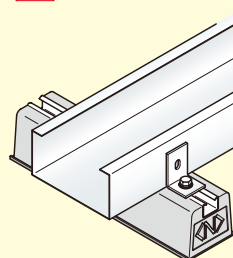
☐ W1/2又はM12

サポート材

☐ チャンネル：D

☐ 形鋼：

☐ 床置きタイプ



☐ デーワンプブロック：

MKB

☐ 単架台

☐ チャンネル：D

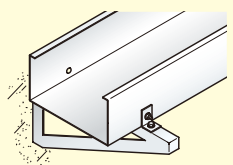
☐ 形鋼：

☐ 形鋼架台

形鋼：

高さ： mm

☐ 壁付けタイプ



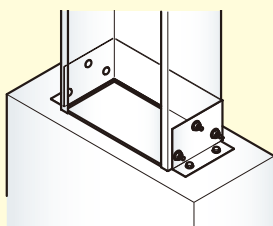
アングルブラケット

形鋼：

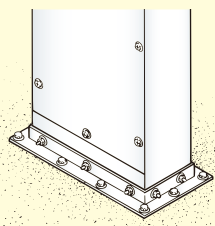
※その他に使用する部材がありましたら、26ページの備考欄にご記入ください。

●接続方法

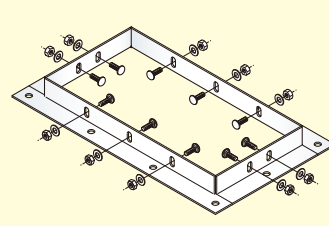
☐ 盤接続



☐ フランジ (丸穴)



☐ ルーズフランジ (長穴)



アルミダクト チェックリスト

下記の空欄に必要事項を明記し、該当する□に✓点マークしてください。

ダクトサイズ

	W	H	L	セパレーター		ケーブル支持桁		数量 (m・本)
				高さ(mm)	本数	ピッチ(mm)	段数	
1								
2								
3								
4								
5								

構造: ☐ <N>標準仕様(カタログ記載品)

<N>標準仕様の場合は、以降の項目への記入必要ありません。

☐ 特注仕様

以降の項目へ記入してください。

<N>標準仕様			
幅W(mm)	高さH(mm)	補強フレーム有無	本体・カバー板厚
200≦W≦400	100≦H≦200	なし	2.0t

仕 上: ☐ アルマイト処理 ☐ アルマイト処理＋クリア塗装 (日本下水道事業団仕様)

板 厚: ☐ 2.0mm ☐ その他 (打ち合わせが必要となります)

補強材: ☐ 無 ☐ 有 (サイズ指定:)

補強材サイズは原則、当方に一任とします。
指定ある場合に限り()内に明記してください。

接地端子: ☐ 無 ☐ 有 (ボルトサイズはM8とします)

開口部のラック受材: ☐ 無 ☐ 有 (アングルサイズ:)

本体への固定用穴 ☐ 無 ☐ 有

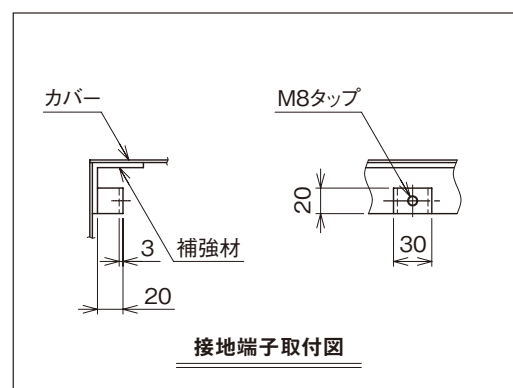
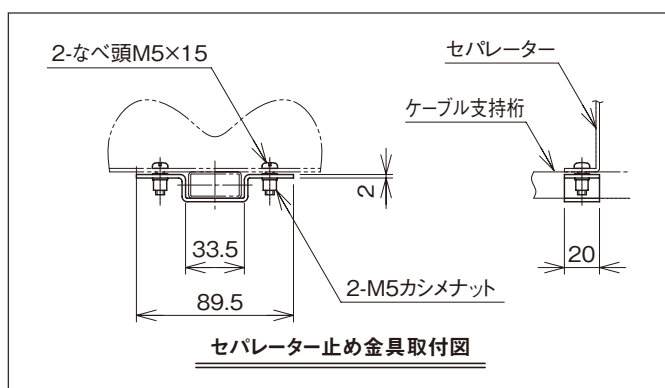
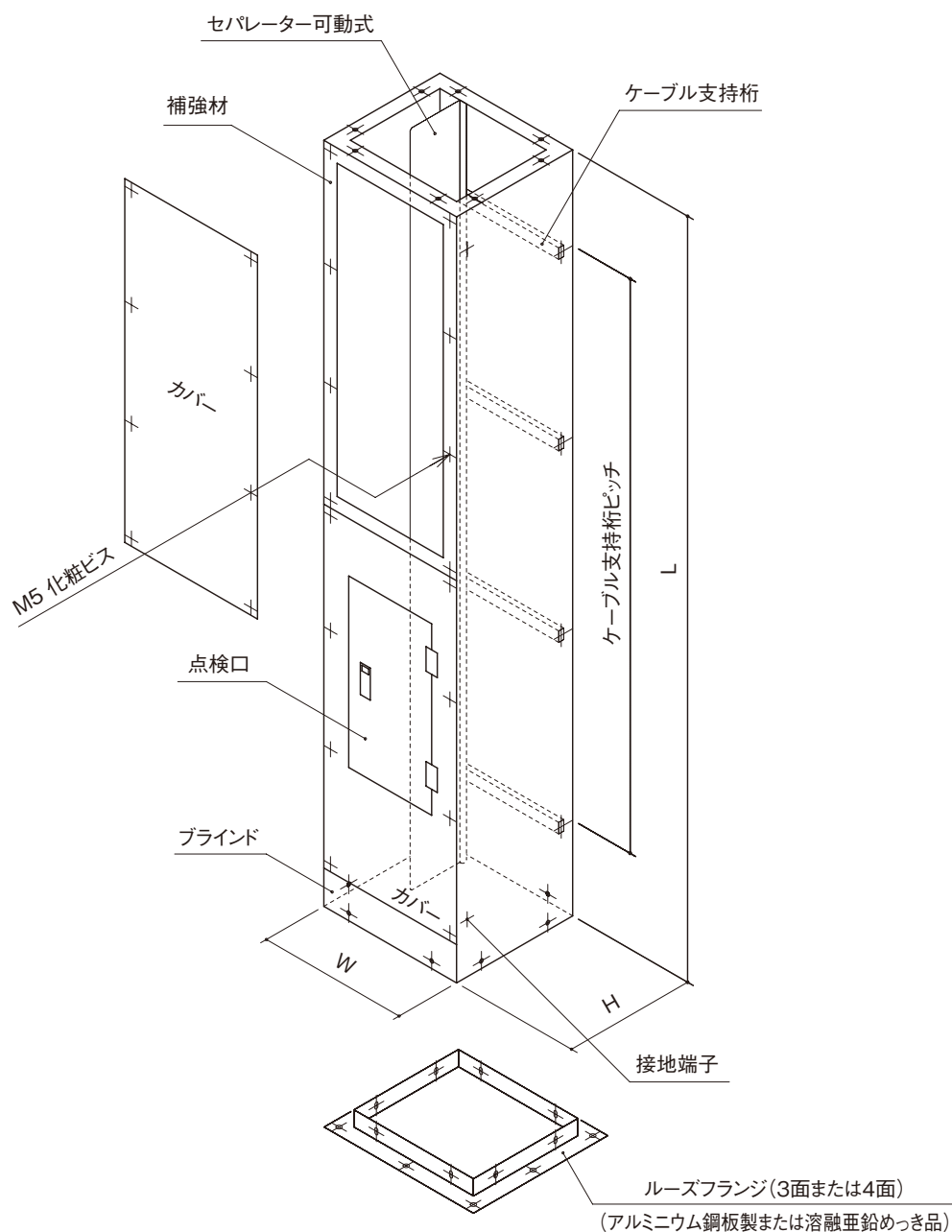
ラック固定用穴 ☐ 無 ☐ 有

カバー: ☐ 取手付 ☐ 点検用扉付

扉サイズ・・・ W mm × H mm

開閉方向・・・ (指示無き場合は右開き)

アルミダクト 概要図（参考）





〒136-0071 東京都江東区亀戸2-40-1 <https://www.negurosu.co.jp/>

商品、納期については最寄りの営業所へお問い合わせください。

※技術的なお問い合わせは【技術部】TEL (03) 6426-0509

取扱店

カタログ記載内容 2025年2月

営業所一覧



2025.03.3.6P-1